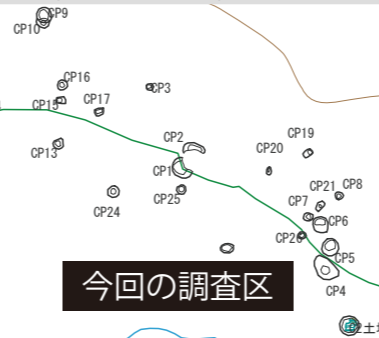


中世井戸
(北から)▶

礎石建物の西側に
位置しています。
六角形状の掘り方
の内側に、方形の
井戸が造られてい
たようです。



子易・中川原遺跡 1-4b工区 調査区(中世)



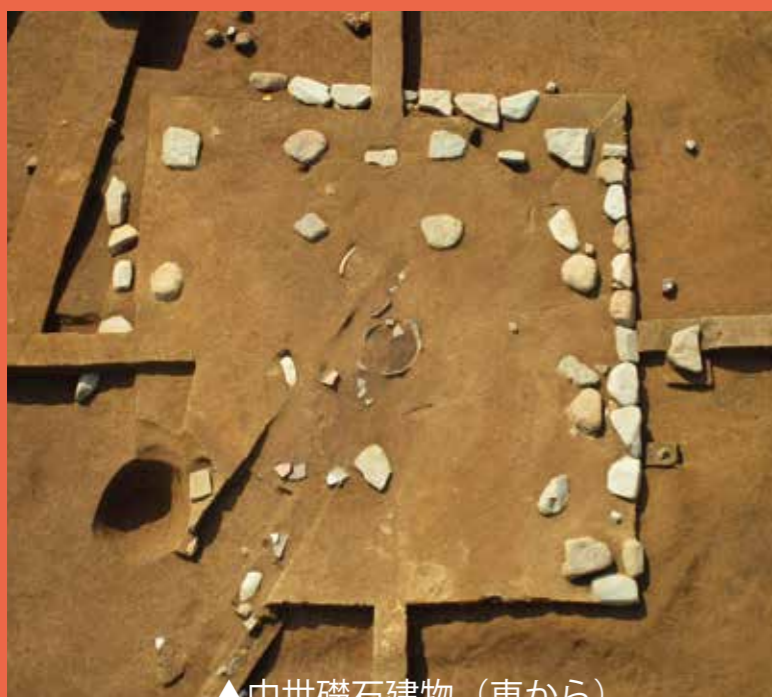
◀中世石組墓
(東から)
北側が調査区外にか
かっていますが、3基
の石組墓が発見されま
した。大きい石を長方
形に2段に配置して、
内側に丸くて扁平な玉
石を積積み上げていま
す。石塔は確認されて
いません。



▲中央に埋められた
常滑大甕 (東から)

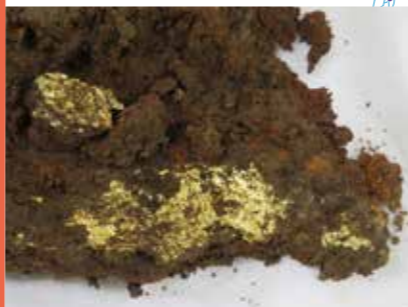


▲石組墓から出土した
かわらけ (左) と常滑窯壺 (右)



▲中世礎石建物 (東から)

今回発見された礎石
建物(納骨堂)は、
東西3間×南北3
間で、一辺4.0m程
を測ります。地山を
削り残した基壇上に
礎石が配置されてい
て、基壇の周囲には
縁石が並べられてい
ます。建物の中央に
は、火葬骨を納めた
常滑の大甕が2個体
埋められています。



◀礎石建物
から出土
した金箔

礎石建物と石組墓
の間に検出されま
した。東西3間×
南北2間で、西側
に縁が付いていま
す。規模は東西5.8
m×南北4.9m程を
測ります。



▲中世掘立柱建物 (東から)